



## 地域交流で交通安全を推進

交通安全推進地域交流グラウンドゴルフ大会・8/23 No.6

交通安全推進地域交流グラウンドゴルフ大会が口和町金田で開催され、口和・高野・比和地域の交通安全協会加入者約100人が参加しました。

この大会は地域間の交流を深め、交通安全を推進することを目的に開催されています。今年で3回目を迎え、口和地域では初開催となりました。

参加者は8ホール3コースの合計打数を競いながら、和気あいあいとした雰囲気の中でプレーしていました。参加者は「3地域で交流することで、広域の交通安全を推進していきたい」「今後はグラウンドゴルフ以外にも地域同士のつながりを深めていきたい」と話していました。



▲グラウンドゴルフを楽しむ参加者

## 今年も大入り満員御礼!

林家ひろ木ふるさと落語会・8/31 No.5

地元東城町出身の落語家、林家ひろ木さんの落語会が東城自治振興センターで開催され、昼の部、夜の部とも100人を超える来場者で、会場は大入り満員となりました。

7回目となった今年は、同時期に入門、昇進した春風亭三朝さんもゲストとして出演。ひろ木さんは、来場者からの急な「なぞかけ」にも、「ちょっと待って…」と慌てながらもうまく応えて、会場はほっこり。新作落語あり、古典落語あり、津軽三味線ありの笑顔あふれる落語会となりました。

公演後のサイン会にも行列ができ、皆さん思い思いに感動を伝えていました。



▲お礼のコメントを述べる林家ひろ木さん(右)

## 機械を使わない稲刈りを体験

比和小学校稲刈り体験・9/20 No.2

比和小学校5、6年生の稲刈り体験が、比和町内にある「比和っ子田」で行われました。毎年食育を目的に、機械を使わない田植えと稲刈りを体験し、自ら収穫したもち米を調理して食べるまでを行っています。

5月に地域の方々に教わりながら、比和町郷土芸能振興会の皆さんがうたう「作業田植」の唄に合わせて、田植えを行いました。それから約4ヶ月、子どもたちは稲の成長していく様子を見ながら、稲刈りの時季を心待ちにしていたようです。

普段から実家の田んぼで手伝いをしている児童も多く、慣れた手つきで、協力しながら作業を進めていました。



▲鎌を使って稲を刈り取る子どもたち

## トップランナーに挑戦!

ひろしまクロスカントリー大会・8/24 No.1

第20回ひろしまクロスカントリー大会が道後山高原クロカンパークで開催され、全国各地から5,500人が来場し、1,813人の選手が参加しました。

大会は1~8kmの5コース・36部門で行われ、小さな子どもからトップアスリートまで、各ランナーが健脚を競い合いました。当日は天候にも恵まれ、澄み切った青空の下、参加者たちはアップダウンの激しい芝生のコースを全力で駆け抜けました。

参加者には大会オリジナルタオルやコースターが配られたほか、広島県実業団招待選手のサイン会や、豪華景品が当たるお楽しみ抽選会が行われ、交流を深めていました。



▲芝の上を全力疾走で駆け抜けるランナー

## 水生昆虫から川の水質を知る

水辺教室・9/10 No.8

西城地区公衆衛生推進協議会が主催する水生昆虫の調査が西城小学校で行われ、6年生13人が参加しました。

児童はまず、環境省登録環境カウンセラー市民部門の奥山秀輝さんから、川に入るときの注意点や、採取道具の使い方、昆虫の取り方などを教わりました。その後、西城川に入り、さまざまな昆虫を捕まえていきました。採取した昆虫は、種類別に分類し、どの水質階級(きれい度)に生息している昆虫なのかを調べました。

児童は「(今回採取した)生物は川がきれいなことを示していて、改めて西城川が美しいと感じた」と話していました。



▲川底の石を剥がして昆虫採集

## ニュースポーツを体験

スポーツ体験会・8/27 No.7

スポーツ体験会が総領自治振興センターで行われ、放課後子ども教室の児童24人がニュースポーツを体験しました。

ニュースポーツはルールが簡単で覚えやすく、性別、年齢を問わず気軽に参加でき、健康づくりにも役立つため、初めて体験する児童たちも楽しんでいました。

当日は「スポーツ吹矢」や、コート上の円盤を棒で押し出し、三角形の得点エリアに入れて競う「シャッフルボード」などを体験しました。

児童は互いに「体を斜めにして構えた方が、吹き矢は真っすぐ飛ぶよ」とアドバイスをしたり、「シャッフルボードの円盤を滑らせるときの力加減が難しい」と話したりしていました。



▲「シャッフルボード」を楽しむ子どもたち

## 音楽で東城市街地の活性化を

えびす「蔵」でアコ・ナイト開催・8/31 No.4

アコ・ナイトプロダクトが主催する「アコ・ナイト」が、東城まちなか交流施設えびす「蔵」で開催されました。「昔少しだけ、かじっていた! ギターを弾いてみたい! 昭和の音楽が好き!」など、歌と音楽に興味を持った約20人が、アコ・ナイト(音楽を愛する人々が集まり、楽器を奏で、歌を歌い、音楽を楽しむ夜)に集まり、歌や演奏を披露しました。

会場には、自由に使えるフォークギターやエレキギターなどの楽器も用意されました。懐かしい音楽が流れる中、参加者は楽しく語り、歌い合い、「最近、音楽でのつながりの場が増えてうれしい。この流れがもっと広がってほしい」と声を弾ませていました。



▲演奏を聴きながら談笑する参加者たち

## 地域の人口ビジョンを描こう

高野地域創生事業「円卓会議」・9/1 No.3

高野地域自治振興区連絡協議会が企画する高野地域創生事業「第1回円卓会議」が上高自治振興センターで開催されました。

この事業は、高野地域の将来像や目標を定め、地域の持続的な発展を目指すために企画されました。

当日は、人口問題や地域活性化の専門家である、一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所所長の藤山浩さんの監修のもと、25人の参加者が、「地域のビジョンを描こう」をテーマに、活発に意見を出し合いました。

参加した伊藤達也さんは「話し合いの中で多くの課題が浮き上がった。しかし課題の多さは、地域再建の大きな鍵になるのではないかと感じる」と話していました。



▲円卓会議でグループ発表を聞く参加者たち